

5日 火曜

へブル



3:12 兄弟たち。あなたがたのうちに、不信仰な悪い心になって、生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

3:13 「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑にならないうようにしなさい。

3:14 私たちはキリストにあずかる者となっているのです。もし最初の確信を終わりまでしっかり保ちさえすれば、です。

3:15 「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。神に逆らったときのように」と言われているとおりです。

3:16 では、聞いていながら反抗したのは、だれでしたか。モーセに率いられてエジプトを出た、すべての者たちではありませんか。

3:17 神が四十年の間、憤っておられたのは、だれに対してですか。罪を犯して、荒野に屍をさらした者たちに対してではありませんか。

3:18 また、神がご自分の安息に入らせないと誓われたのは、だれに対してですか。ほかでもない、従わなかった者たちに対してではありませんか。

3:19 このように、彼らが安息に入れなかったのは、不信仰のためであったことが分かります。

イスラエルは神に選ばれた民でしたが、それは神様の救いが必要であることを身をもって明らかにするためでした。彼らは律法を守りきれなかったで、その身に苦難を招きました。それは反面教師であって、実は私たちの姿でもあるのです。

神様の声を聞きながら、すなわち御心と気づいていながら、従っていないことはないでしょうか。多くはここに表されているイスラエルの民のように、プライドや保身が原因であることも多いものです。

それらを神様に委ねて、自分をそのまま神様に見られていることを覚えて、自分自身の現実の姿を認めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

